宮城県
Miyagi Prefectural Government

記者発表資料　令和８年１１月２６日
健康推進課がん・循環器病対策班　担当：小野寺、酒井
電　話：０２２－２１１－２６３８
E-mail：kensui-g@pref.miyagi.lg.jp

仙台市立館中学校 YAKATA JUNIOR HIGH SCHOOL × TUH 東北大学病院

「がんってどんな病気？」お医者さんから直接学ぼう

～仙台市の中学校で医師によるがん教育授業を実施します～

子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ってもらうことは非常に重要であり、学校現場では、学習指導要領に基づいて「がん教育」が実施されています。

県では、この取り組みを支援するため、「宮城県がん対策推進計画」に基づいて拠点病院等から医療従事者を外部講師として派遣する「学校がん教育外部講師派遣事業」を推進しています。

このたび、仙台市立館中学校において、全校生徒を対象に下記のとおり特別授業を実施する運びとなりました。同校では、昨年度に引き続き２年目の開催となります。

本授業において、学校の通常授業では触れられない医療現場の「生の声」を聴くことは、健康とがんのリスクに関する正しい知識を持つとともに、がんを予防するための生活習慣を実践しようとする態度を養うことが期待されます。

報道関係者の皆様におかれましては、県民の皆様への情報発信に御協力いただきますようお願い申し上げます。

記

１　がん教育実施日時

令和８年１２月４日（金）午後１時３０分から午後２時２０分まで

２　場所

仙台市立館中学校（仙台市泉区館六丁目１７－１）

３　外部講師

東北大学病院 放射線治療科 神宮 啓一 教授

取材いただける場合は、準備の都合上、１２月２日（水）正午までに、報道機関名、担当者氏名、当日の人数、連絡先を、E-Mail 又は電話で、健康推進課担当まで連絡いただきますようお願い申し上げます。

（参考）県から各学校へ配布しているチラシ

がん治療の最前線から未来の自分を守る知識をお伝えします

医療現場から学校へ！健康の特別授業

保健体育・養護教諭の先生方へ



がんは日本人の死因第1位。児童生徒に対して、がんに関する正しい知識と、がん患者やその家族への理解を深めることが重要です。そのため、文部科学省では、医療従事者を外部講師として活用することを推奨しています。
そこで、本年度から、県内のがん治療の中心を担っている「がん診療連携拠点病院」から医師や看護師等を外部講師として学校に派遣する事業を開始しました。



謝金不要
学校の費用負担はありません

医師や看護師といった医療技術者等から直接、がんについて学べる貴重な機会ですので、本事業の活用をぜひ御検討ください。
なお、がんに限らず、生活習慣病の予防など幅広くお話できます。
内容や時間等は御希望に応じて調整可能ですので、御相談ください。（申込から授業までの流れは別紙参照）

生徒からの声（授業後の感想）

- ○ がんになっても、差別したりしない。今までどおりに接することがとても大切だと思った。
- ○ 今までがんに悪いイメージがあったけれど、がんに なっても生活を続けることができるんだなと思った。
- ○ 自分はがんにより家族を失ったことがあるので、 がんに恐怖を覚えていたけど、がん対策が分かったので気持ちが楽になった。



令和７年度から派遣事業を開始しました！

宮城県